

- ◆ 漁業、新たな取組みを学ぶ研修会-2・水環境講演会……………1
- ◆ 平成29年度下半期の主な事業……………2・3
- ◆ トピックス……………3
- ◆ 平成30年度事業計画及び予算・イベント散歩……………4

発行：一般財団法人
横須賀西部水産振興事業団
〒240-0101 横須賀市長坂2-2-2
☎ 046-857-6596

漁業、新たな取組みを学ぶ研修会-2 工夫して研究すれば、新たな資源が生まれる。



1月25日(木)、西浄化センター会議室において「漁業、新たな取組みを学ぶ研修会-2」を開催しました。

研修内容は(1)「魛、小田和湾の藻場環境」と題して、アジア航測 柳の老岐信二氏から(2)「野菜残渣で育てるムラサキウニ」と題して、神奈川県水産技術センターの白井一茂氏から(3)「下水道資源を利用した水産養殖飼料の生産技術」と題して、中央大学理工学部准教授の山村寛氏から講義がありました。

今回の研修で今まで見捨てられていた野菜の残渣をエサとして利用し、磯焼けの原因と指摘されているムラサキウニを食用にする、また下水道の処理水から生物に必要なリンや鉄を集めて有効利用するなど工夫によって新しい資源が生まれることを学びました。最後に神奈川県水産技術センター所長の杉浦暁裕氏から日本の漁業の大切さの説明があって研修会を終了しました。



水環境講演会 「雨・水・海のお話」



1月13日(土)、ヴェルクよこすか6階ホールにおいて「水環境講演会」を開催しました。この講演会は米国での心臓移植を待つ横須賀市在住の岡崎零ちゃんを応援するために「しずくにまつわる雨水海のお話」として開催しました。

講演は「大洪水から生きのびるサバイバル大作戦」と題して京都大学防災研究所准教授の川池健司氏、「水が汚れたらどうなる？」と題して山村寛氏、「野外科学の仕事をして」と題して老岐信二氏が行いました。講師は皆ボランティアで講演を引き受けてくれました。

聴衆は100名を超え、小学生もいましたので誰にでもわかる、日常生活に役立つ話が聴けました。

平成29年度下半期の主な事業

当事業団は横須賀市域部分の相模湾の水産振興と環境美化を目的に活動しています。

平成29年9月以降の事業活動を振り返って紹介します。

■大楠小学校3年生がカサゴ種苗放流

9月5日(火) この日の朝、カサゴを乗せたトラックが芦名漁港に到着、それにあわせ大楠小学校3年生87名が3班に分かれ1500尾のカサゴを放流しました。放流の前に神奈川県栽培漁業協会の今井専務からカサゴの特徴や成長について説明を聴きました。この後2500尾は船で放流し、4000尾は長井漁港に運び、テトラポットから実習をしていた県立海洋科学高校の生徒さんに手伝ってもらい無事放流することができました。



カサゴ



当日の配布物

■サザエ、アワビの稚貝を放流

10月17日(火) サザエを2000個、アワビを4000個長井地区に放流しました。



11月7日(火) アワビ4000個を大楠地区に放流しました。



11月22日(火) サザエ2000個を大楠地区に放流しました。



■荒崎海岸で清掃活動とクロダイ放流

9月30日(土) 「荒崎海岸クリーンフェスタ2017秋」が開催され、約150名が海岸清掃とクロダイの種苗放流を行いました。



■「甦れ、小田和湾の藻場環境」を発行

11月1日(水) 平成29年度調査を実施した「小田和湾藻場分布調査」により磯焼けの現状についてまとめました。海の中の変化を広く地域の方に知ってもらうために「西部水産振興だより臨時増刊」として発行しました。



■東部地区水難救助訓練に参加

1月9日(火) 平成29年度「東部地区水難救助訓練」が長井漁港で開催されました。東部地区は横浜柴難所から大楠救難所まで11の救難所が対象です。当日は強風で船を出すことができず水難救助訓練はできませんでしたが救命索発射銃操作訓練、放水訓練などが実施されました。今年はドローンを使用して空中から訓練を撮影しモニターで映像を見ることができました。なお訓練のさきがけ長年水難救助に貢献した功労者の表彰が行われました。



トピックス

長井ソレイユの丘に行ってみよう



昨年10月に三浦半島唯一の観覧車ができ、メリーゴーランドもあり、巨大遊具なども含め家族で楽しめる施設が充実してきました。



2月は菜の花が満開でした。ホームページでその日のコンサートや開催行事を確認して楽しむことをお勧めします。

また横須賀市民は第2、第3日曜日は感謝デーで駐車場無料(要証明書提示)、皆さんぜひソレイユの丘に行ってみてください。

今年も当事業団のポケットティッシュを作製しました

当事業団が協賛するイベントや海岸清掃行事で配布して広報に努めます。今年は種苗放

流しているヒラメ、カサゴ、マダイ、トラフグ、サザエ、アワビをデザインしました。



平成30年度 事業計画及び予算

一般財団法人に移行し5年目を迎える今年度の実施事業は横須賀市の相模湾沿岸における海岸環境の保全と美化活動を推進するとともに水産振興を目的とした水産物の調査研究及び水産資源の安定供給を目指し種苗放流を継続的に推進します。本年は昨年実施した小田和湾藻場分布調査結果から、磯焼けに悩む小田和湾を少しでも甦らせるよう研究機関や漁業者さんと解決

案を探っていきます。

さらに海や魚に関する知識を広く地域の皆様に知っていただくよう研修会を開催し、漁業活動に対する様々な情報提供や市民に親しまれる海岸環境づくりを推進します。また、これらの事業についての広報活動を併せて行います。

総事業費:32,350千円

【平成30年3月に開催された理事会において、平成30年度の事業計画と予算が決まりました】

事業名	事業費	事業の内容及び事業構成比
① 環境保全事業	3,013千円	相模湾沿岸の海岸環境の保全と美化に関する事業
② 調査研究・保護培養事業	6,740千円	相模湾における水産物の調査研究及び保護培養に関する事業
③ 研修事業	967千円	海岸環境及び、水産物等の研修会に関する事業
④ 広報事業	1,028千円	海洋環境及び、水産振興等の広報に関する事業
⑤ 調査研究助成事業	500千円	水産物の調査研究を行うものに対する助成事業
⑥ 経営安定事業	6,000千円	経営安定のための融資返済助成に関する事業
事業費計	18,248千円	
⑦ 管理費	14,102千円	事業団を運営に要する会議や債券購入などの費用
総計	32,350千円	

イベント散歩 海や地域の行事、興味深い見学会に参加してきました。

10月20日(金) 第41回「相模湾の環境保全と水産振興」シンポジウム

(公財)相模湾水産振興事業団が主催するシンポジウム、毎年小田原市で開催されています。今年は里海テーマに6つの講演と総合討論がありました。有意義な内容でした。



1月28日(日) 武山初不動

一年の無病息災を願い多くの方が参拝されていました。漁師の不動様ならではの笹についたふ菓子や笹が竹、ふ菓子は魚にみたくられていて、名物になっています。武山に上るのは年々きつくなりますが、毎年の自分の体力を知るよい機会になっています。



1月6日(土) 横須賀西地区新年賀詞交歓会

今年も大楠連町、長井連町、武山連町が主催する西地区の賀詞交歓会が西コミュニティセンターで開催されました。町内会長さん、民生委員さんなど地域を支える方たちの集まりです。来賓は市長、市議会議員、自衛隊各隊司令などで、今年は初めて小泉衆議院議員も参加されました。西地区の勢いを感じる賀詞交歓会でした。



2月18日(日) 史跡千代ヶ崎砲台跡見学会

明治20年代に建設、竣工したもので、東京湾口を防御する観音崎砲台の援助や浦賀湾や久里浜に上陸した敵に対する防御が任務だったようです。砲台跡だけでなく近くに燈明堂や美しい砂浜もあり散歩コースとしておすすめです。

千代ヶ崎砲台跡は見学会開催時しか見られませんが機会を見つけて明治時代へのタイムスリップも興味深いと思います。

